

学力向上に向けた取組

函館市立亀尾中学校

1 課題

- 読む・書くを中心とした基礎的・基本的な知識や技能の定着
- 授業力アップを目指した指導体制の工夫・改善

2 課題解決の具体策

- ①徹底した個に対する学習支援と補充・発展的学習体制づくり
- ②全員（小中合同）による研究授業の公開とT Tや小中連携授業の導入

3 取組の概要

<①に対して>

- ・朝読書や朝学習を生徒会活動と連携させ、自主的計画的な学習の取組を継続させる。
- ・生徒の自主的な「放課後・長期休業中」における補充・発展的な学習や個別指導の充実に努める。
- ・各種検定（英検等）への積極的な取組によって、学習意欲の向上を図る。

「長期休業中の学習」



<②に対して>

- ・英語の授業におけるT Tを導入し、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る。
- ・「考えをわかりやすく伝える力の育成」～読む・書くを通して向上する表現力を求めて～という研究テーマで、全員（小中合同）による研究授業を公開して交流協議を行うなど、校内研修の深化に努める。
- ・小学校の外国語活動・音楽・習字など教科等においても小中が連携する指導体制をとり、発達段階に応じた指導について理解を深められるよう工夫する。また、学力・学習状況調査の分析を小中が共有し、長期的な視野をもった指導に努める。
- ・特別支援を要する子に対しては、職員間はもちろんのこと、関係機関（市教委・南セ等）や保護者と積極的に連携しながら、より効果的な指導に努める。

「集中合同研究授業」



4 成果と課題

- 全国学習状況調査の結果からも個々の学力の向上が認められた。長期休業中や放課後に、受け身ではなく課題意識をもって補充・発展的な学習に積極的に参加するなど、前向きな取組が見られた。
- 就寝時刻、TV・DVD等の視聴時間、携帯電話等の使用について課題が見られる。家庭学習の習慣化にも影響している。小中の連携をさらに強化し、保護者とも連携しながら、継続的に取り組みたい。